



瀬谷小だより

1月号

No. 9

平成31年1月7日
横浜市立瀬谷小学校

一瞬、一瞬の選択が未来を創る

校長 倉岡 ナオミ

平成最後のお正月、あたたかく穏やかな、新しい年の始まりです。身の回りのもの全てが、空気までもが新鮮に感じられる、輝かしい新年です。青く澄んだ空を見上げながら、今年も子供たちにとって、皆様にとって素晴らしい年であるよう、願わずにはいませんでした。本年も気分新たに、職員一同、努力してまいりますので、昨年同様、御理解、御支援をよろしくお願いいたします。

さて、私たちは日々多くの情報の中で生活しています。ちょうどテレビのように、様々に飛び交う電波を、自分のリモコンで選択し、受け取って、考えたり活用したりしているようなものです。これらの情報の中には自分にとって有効なものもそうでないものも、役に立つものもそうでないものも、いろいろあります。何を受け取るか、受け取ろうとするかは、それぞれのリモコンのスイッチの入れ方次第、自分自身の選択に任されているのです。

昨年、12月15日に3年生が横浜文化体育館での実技発表会に参加しました。これは毎年行われていて各区で1校だけ（1学級や1学年）が参加できます。本当に貴重な機会です。今年度、瀬谷小学校の3年生がそれを選択することができました。今まで、数か月にわたって、一人一人が努力を重ねてきました。途中、大変なことも辛いこともあったかもしれませんが、学年で一つの目標に向かうために、自分の行動や気持ちの面で様々な選択をしてきたはずで、友達との関わりの中でもその選択があったと思います。つまり、自分から練習をやるか、やらないか、友達の考えを取り入れるか入れないかなど、いろいろな葛藤があって当日を迎えたのです。広い体育館の中でたくさんのライトと声援を浴びて、子供たちは今までの練習を生かして、精一杯の演技を見せてくれました。その姿に、私を含めて多くの職員が感動し、涙を流しました。保護者の皆様も同じだったと思います。後日、3年生数人が応援してくれたお礼を言い職員室に来ました。心の成長も感じました。自分が物事にどう向き合っていくのか、その選択の上に結果はついてくるのです。当日、残念ながら参加できなかった子供たちも含めて、取り組んできたみんなが、教師も、貴重な何かをつかみ、成長できたことを本当に嬉しく思いました。

これは特別な経験をした時にだけに言えることではありません。学習にしても、友達との関わりにしても、行事にしても、生活においても、私たちは毎日、一瞬一瞬、自分ですることや考えることなどを選択しています。AをするのかBをするのか、Aの言葉を出すのかBの言葉を出すのか。その積み重ねが自分自身の未来を創っていくこととなります。そして、その結果は自分が受け止めることとなります。だからこそ、よりよい選択をしていけるよう努力することが必要になってきます。私たちも適切な支援を心掛けていきます。さあ、新しい年の始まりです。よい選択をして素晴らしい未来を創っていきましょう。誰のものでもない、自分自身のリモコンによって。